

東京五輪スポンサーにふさわしい行動を

日航解雇解決早く

原告団ら院内集会



解雇争議の労働組合統一要求による解決を求めて院内集会を行う日航労働者と支援者たち。9日、衆院第2議員会館

日本航空解雇撤回原告団（パイロット・山口宏弥団長、客室乗務員・内田妙子団長）と

国民支援共闘会議は9日、衆院第2議員会館で、日航に対して東京五輪スポンサーとしてふさわしい行動を取り、労働組合統一要求

に基づく早期解決を求め、院内集会を開きました。

日航は、解雇強行の過程で労働組合のストライキ権投票を妨害し、不当労働行為認定が最高裁で確定。国際労働機関（ILO）から、解雇者の職場復帰

に向けた意義ある対話を行うよう勧告を受け、東京五輪の組織委員会に配慮した調達コード」でILO条約の順守を求められています。

集会には150人が参加。あいさつした支

援共闘共同代表の糸谷

欽一郎全国港湾委員長は、「解雇争議の解決へ正念場だ」と強調。労働組合の団体交渉、東京五輪の関連機関への申し入れ、社長交代の節目をとらえた運動などで会社に決断を迫ろうと呼びかけました。

東京五輪「調達コード」を解説した牛久保秀樹弁護士は、大会組織委員会とILOがパートナーシップを結んでおり、ILO条約違反や長時間労働など調達コードに抵触すると改善を要求されることもある、と指摘しまし

た。

日航乗員組合（機長組合と組織統一）の今泉修一副委員長と日航キャビンクルーユニオン（CCU）の前田環副委員長は、職場の人員不足打開と空の安全のため、解雇・退職強要を受けたパイロットと客室乗務員の職場復帰・再雇用を求める統一要求の交渉状況を報告。会社側が、「われわれも考えている」「現時点では答えられない」と要求を頭から否定できない状況になっていることを指摘しました。

山口パイロット団長は、「国会前行動などで多忙ななか、3月の本社前行動に600人が参加してくれた」と支援に感謝。飯田幸子客室乗務員事務局局長は、「今日11日に新社長との組合交渉があるが、解決を訴えていきたい」と述べました。

日本共産党の畑野君枝衆院議員、山添拓参院議員、立憲民主党の初鹿明博衆院議員があいさつしました。